歯科衛生士・コーチ
石田恵子氏
Ishida Keiko

日本歯科書店研究会土曜セミナー（2004年7月4日、9月6日・東京）から

審美歯科時代のコミュニケーション

「わかり合える」「前に進める」コーチング

病院を活かせるための歯科医療から、より美しさと健康の獲得をサポートする歯科医療へ。すでに広く普及しているホワイトニング、さらに進んで、今秋日本でも発売されるティースマニキュアなど、「より上を目指す」歯科医療には、これまでとはひと味違うコミュニケーション技法が求められます。そのひとつが、相手の能力を自発的に最大限まで引き出すよう手助けをする「コーチング」。スタッフ教育の方法としては、すでに歯科医院でも採用されている例がありますが、デンタルスタッフから来院者へ向けたコミュニケーション技法として、今後、さらに可能性が広がっています。

私は、歯科衛生士としての経験を生かし、歯科医療の現場にコーチングを普及させていきたいと思っています。

㈱シナジー・コンサルティング コーチング企画部　電 03-5491-6388　http://www.synergy-c.co.jp/coach_keiko

歯科医療の新たな「かたち」

健康を獲得する場所になってきた

私は、これまで18年の歯科医院での勤務、または経営者サイドにたった経験もあります。既存のデンタルスタッフとして働く以上、治療・再治療サービス含め、その歯科医院の一員として患者さんの満足を図ることがさることながら、自分の仕事を満足感を得ることができるか、自分の仕事をしてきました。このように、患者さんにとっても、WIN&WINの法則が成り立つ、日々